

令和8年度 乾隆小学校 学校経営方針

京都市学校教育の重点 目指す子ども像

「伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を創造する子ども」

学校教育目標

「未来に向かって 楽しく学びを深め合い 努力する 乾隆の子」
～『ワクワク』があふれる「チーム乾隆」～

育成をめざす資質・能力

対話力(話す、聴く力・ICT 活用力)

主体性

粘り強さ

目指す子ども像

◇自分で考え行動・挑戦し、最後までがんばる子 ◇人・物・自分を大切にする子

すべては、乾隆小の子どものために

目指す学校像

☆子どもの命を守り切り、支え合い、誰一人取り残されない学校

○子どもがいきいきと楽しく学び合える学校
(ワクワクをつなげる)

○保護者、地域に信頼され、地域と共にあゆむ学校

目指す教職員像

☆主体性、相手意識、実践力を身につけ協働できる教職員

○子どもや保護者、教職員の気持ちを想像できる教職員
○子どもを成長させる取組を創造できる教職員
○みんなで学校を作ろうとチームで動ける教職員

家庭・地域との連携

教職員の責任と自覚

確かな学力(知)

- 学びの質を高める授業と学習環境の充実
・「主体的・対話的で深い学び」を基に、ICT や学校図書館を活用した授業改善を進める。
- 自ら学ぶ力の育成
・授業と家庭学習をつなぎ、自学自習に取り組む態度を育てる。
- 一人一人を大切にしたい指導・支援
・子どもの特性に応じた支援を行い、安心して学べる環境を整える。
- 体験を通した学びの充実
・自然や地域の人材・教材を生かした体験的な学習を進める。

豊かな心(徳)

- よりよい人間関係と規範意識の育成
・支え合い高め合う集団づくりを進め、学校のきまりや3つの「あ」(あいさつ・ありがとう・あとかたづけ)を大切に生活態度を育てる。
- 豊かな心を育む教育の充実
・道徳科を要に学校教育全体で取組を進め、感性や思いを表現する力を育てる。
- 人権意識・情報モラルの育成
・人権学習や情報モラル教育を通して、互いを尊重する態度を養う。

健やかな体(体)

- 基本的な生活習慣と健康づくり
・基本的な生活習慣や食に関する指導を通して、心身の健康の基礎を育てる。
- 体力の向上と運動に親しむ取組
・「楽しい体育」学習の授業実践や運動・スポーツ活動、部活動等を通して体力向上と運動習慣の定着を図る。
- 命を守る教育の推進
・保健・安全・防災教育を充実させ、命の大切さや安全に行動する力を育てる。

教育目標実現に向けた取組の重点 ～『知・徳・体』の調和のとれた子どもの育成～